



議会報

かわべ

発行 川辺町議会

編集 川辺町議会報編集委員会

〒509-03

岐阜県加茂郡川辺町

中川辺1518-4

☎ (0574) 53-2511代

第65号

平成 7年12月15日



(14ページに議員名掲載)

こんな記事があります

新しい議会構成（初議会）	2	・意見書・決議採択	6
第3回定例会	3～13	・一般質問	7～13
・人事、条例改正、補正予算	3～4	第7回臨時会	13
・決算の認定	4～5	議会日誌・表紙写真説明	14

第6回臨時会 — 初議会 —

新しい議会構成

副議長を選出したあと、各常任委員会、議会運営委員会、議会報編集委員会の委員と正副委員長を選出し新しい議会がスタートしました。

建設農林常任委員会

【總務常任委員會】
委員長 平岩 求
副委員長 渡辺 芳孝
委員 佐伯 幸信
委員 船戸 進
委員 大脇 久男

各常任委員會

◎議長・副議長の選出は、それぞれ無記名投票の選挙で行いました。

議長 佐伯幸信氏
副議長 辻武史氏

その他の 委員会

佐伯幸信議長

辻
武史 副議長

[議會運營委員會]

◎ 委員選任方法は議長に
一任し、正副議長により
選任されました。

監査委員に
田原芳郎氏

○ 川辺町の監査委員は一人ですが、一人は法で議員のうちから選任することになつており、町長の選任提案に全会一致で同意しました。

議長・副議長就任あいさつ

九月一日の選挙後の初めての議会、第六回臨時議会におきまして、私たちは議員各位のご推挙によりまして、議長・副議長の要職に就任致しました。

身にあまる光栄であると共に、責務の重大さを痛感致します。

もとより微力でその器ではありませんが、皆様の温かいご指導とご鞭撻によりまして、円滑な議会運営と町政の発展を図るべく努力致す決意でございます。

最近の町政をとりまく環境は、社会経済の不透明の中で財政負担の増加、さらに急速に進む高齢化社会の対応に極めて厳しいものがあります。

二十一世紀に向けて地域社会の発展と、魅力ある町づくりを目指し、平成八年二月には福祉施設の完成、平成九年には木曾川流域関連公共下水道事業の一部供用開始と、事業の推

進がなされており重要な時期を迎えております。
議会はこうした認識の上にたって、地域の実情に即した町
民の要望に応えるべく全力を尽くす覚悟でござります。
今後とも、皆様方の一層のご支援、ご協力をお願い申し上
げご挨拶と致します。



平成7年 第3回定例会

平成七年第三回定例会は九月十二日から二十六日までの十五日間開かれました。提出された案件は、
・固定資産評価
・審査委員会委員の選任
・条例の一部改正
・平成七年度各会計補正予算
（四件）
・平成六年度各会計決算の認定
（五件）
・教育委員会委員の選任
・決議（三件）など二十案件で、それぞれ慎重に審議し、いざれも原案のとおり可決、承認しました。
主な可決案件をお知らせします。

人事

育委員会



專決報告

平成七年度水道事業会計

平成七年度水道事業会計 補正予算専決処分を承認

◆消防団員等

133

条例の改正

その他

政令の改正に伴う改正。主な内容は、公務により災害等を受けた非常勤消防団員等の遺族に対する損害補償の充実を図るため、遺族補償年金の額を引き上げました。

◆可茂広域行政事務組合

規約の変更

これは「中農地主過半都市

これは「中濃地方拠点都市地域」として指定された関係市町村が基金（十億円）を出

し合い、その果実（利子等）

で関係市町村の振興を図る事

川辺町の出資額は
業は役立てるためのもので

一、三四一萬円です。

◆平成七年度下水道事業 特別会計繰入金の変更



補正予算

◆平成七年度一般会計
補正予算（第一号）

一般会計補正予算（第3号）

△は減額 (単位:千円)

歳入合計	29,591
国庫支出金	90
県支出金	9,476
繰入金	12,060
諸収入(雑入)	2,255
町債	5,600
寄附金	110

歳出合計	29,591
議会費	59
総務費	7,285
民生費	16,391
衛生費	6,797
農林水産業費	117
商工費	68
土木費	△2,328
教育費	1,202

二千九百五十九万一千円を追加し、予算総額は三十七億三千八百五十万四千円になりました。

◆平成七年度国民健康保険事業特別会計（第二号）

◆平成七年度下水道事業特別会計（第一号）

百九十九万九千円を減額し、予算総額は五億七千八百九十万一千円になりました。

補正の主な内容

◎本年度の老人保健医療費拠出金が確定し、当初予算額を減額。

◎平成六年度退職者医療交付金が受け入れ超過であったため超過分を返還する。

決算の認定

致で承認されました。

平成六年度の各会計の歳入歳出決算はすべて全会一致で認定しました。

認定した決算は次の通り。

◆一般会計

◆国民健康保険事業特別会計

◆老人保健特別会計

◆学校給食共同調理場会計

◆下水道事業特別会計

◆決算審査特別委員会

決算審査は五人の委員による決算審査特別委員会を設置して行いました。



決算審査（役場3F会議室で）

補正の主な内容

平成六年度繰越金と公債費利子の減額分（平成六年度に借り入れた下水道債が予定より低金利であったため）を、一般会計へ戻す。

平成六年度繰越金と雑入（社会保険診療報酬支払い基金、国・県負担金等の精算による）収入分を一般会計へ戻す。

同委員会は九月十九日から二十一日まで三日間審査を行ない、『すべてを認定すべき』とした審査報告書を、留意事項、主な質疑・答弁を付して提出し、定例会最終日に委員長報告を行つて全会一

委 委 委 委 委
員 員 員 員 員
酒 横 平 岩
向 船 戸 求
芳 喜 豊 進 文 夫 求
【決算審査特別委員会委員】

決算審査報告書から

決算審査を終えて各課へ要望

町行政の今後においては、下水道事業、福祉事業等に膨大な財源を必要とするので、計画的な資金運用を立て、効率的な予算執行と健全財政の堅持に努力されるよう要望する。

(意見)

【一般会計】

前年度に比べ、歳入で一九・四%減、歳出で一八・九%減となつたが、これは川辺ダム湖周辺整備事業（右岸）が前年度で完了したことによる。本年度は平年ベースの決算規模となつた。（財政運用も）長期的に安全な財源確保に努め、健全な財政構造を維持されていることを認める。

審査で分ったこと

〔主な質疑と答弁〕
から抜粋

◆教育費の不用額 九五〇万

長引く不況の中で、急速に進む高齢化社会に対して住民の多様なニーズに応えるため適正な財源確保と各種事業の優先順位の選択を行い、一層の健全財政の堅持に努力されるよう要望する。

〔歳入について〕

歳入の有力財源である税収は、前年度に比べ、収納率は〇・二四ポイント増であるが

一層向上に努められたい。

町税は調定額二億一、八七二万五千円に対して二億二五万三千円で、収納率は九八・五%。収入未済額（未収額）は一、六五〇万二千円。このうち九月十八日までに三七五万八千円が納入された。

〔歳出について〕

予算執行率は九八・四%で効率的な予算執行がなされている。教育費で不用額が九五〇万九千円あるが、主に需用費である。予算執行に当たっては、多岐にわたり難しい面もあるが、適切な予算計上を要望する。

◆道路改良費中、公有財産購入費の不用額 四二五万六千円の内容

- ・購入予定の道路用地の交渉が契約に至らなかつたため。

◆交際費支払い明細

川辺おどり補助金に対する
収支報告(川辺町商工会から)

	生活系不可燃ごみ	教育費：一、六九四千円
	平成元年度	二八五トン
	平成二年度	三一一トン
	平成三年度	三二三トン
	平成四年度	三一三トン
	平成五年度	三一六トン
	平成六年度	三四一トン

差金が主なもの（六九〇万二千円）で、残余は多くの費目中の合計額。

・教育費：一、六九四千円
・災害復旧費……一二千円
・合計……七、六四三千円
『端数処理のため合計額は一致しない』

◆川辺おどり補助金に対する 収支報告(川辺町商工会から)

区分	町長交際費		議長交際費	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
購読料	44	539,600	36	350,000
祝儀	38	309,745	3	15,700
見舞	10	59,415	—	—
香典・かご盛	58	470,070	16	151,090
土産	13	209,294	—	—
賄い	46	712,627	—	—
餞別	7	376,000	—	—
中元・歳暮	8	767,850	—	—
協賛金	—	—	2	60,000
会費	—	—	1	10,000
賞品・謝礼等	4	51,635	2	12,296
計	228	3,496,236	60	599,086
(予算額)		3,500,000		600,000

◆ごみ処理量の推移

◆食糧費(款別支出額)

・生活系可燃ごみ	・議会費…………一〇九千円
・総務費……一、七五六千円	・議会費…………一〇九千円
・民生費…………一三九千円	・議会費…………一〇九千円
・衛生費…………六四三千円	・議会費…………一〇九千円
・農林水産業費	・議会費…………一〇九千円
・商工費…………一、二一千円	・議会費…………一〇九千円
・土木費…………二二千円	・議会費…………一〇九千円
・消防費…………五一千円	・議会費…………一〇九千円
・下麻生プールの更衣室と便所の改築工事費の入札	・議会費…………一〇九千円

【収入】

協賛金 7,531千円
町補助金 4,000千円
町雜縁 153千円
越金 236千円

合計

【支出】

花火代 6,312千円
招待費 2,000千円
ベント 220千円
招待係 741千円
待者投 252千円
関係費 700千円
パン 570千円
雑誌 250千円
謝合 114千円

【代費】

トランク代 11,806千円
トランク料 600,000円



非核平和都市宣言

飛騨川の水面に影映す緑の樹木と紺碧の空。

縫うが如くすべるが如く若者の舟が行く。

川辺のダム湖は日本有数のボートのメッカ。

ここに集う若者に核兵器はいらない。

私たち川辺町民は、

かけがえのないこの町で、

平和に暮らすことをのぞみます。

そのために

平和憲法を守り、

非核三原則を厳守し、

核兵器全面禁止と廃絶を求めて行動します。

広島・長崎の悲劇を繰り返さないために。

被爆五十周年を期し

ここに「非核平和都市」を宣言する。

平成七年九月二十六日

川辺町議会

意見書・決議を採択

議員提案により意見書1件・決議2件を全会一致で採択しました

義務教育費国庫負担制度の維持に関する意見書

政府は昭和六十年度予算編成以来、毎年、財政負担の軽減を図るために義務教育費国庫負担制度の見直しを行う中で、公立小中学校事務職員及び学校栄養職員に対する給与費の国庫負担制度の削減を検討して来た。しかしながら、この制度の見直しは、単に地方財政負担の増大をもたらすのみならず、教育に機会均等とその水準の維持向上に重大な影響を及ぼすものである。

よって、政府におかれては、現行の公立小中学校事務職員及び学校栄養職員に係る義務教育費国庫負担制度を維持されるよう地方自治法第九十九条第二項の規定により意見書を提出する。

平成七年九月二十六日

川辺町議会

中国及びフランスの核実験強行に抗議し、即時全面中止と核兵器廃絶を求める決議

私たちは、中国及びフランス政府が広島・長崎の被爆五十年の日を前後して核実験を強行したことに、強い憤りをもつて厳重に抗議する。

両国政府は、それぞれ『自衛のため』とか『核抑止政策に反対』、あるいは『信頼できる確実な抑止力』などの論法をもつて核実験を正当化しようとしているが、広島・長崎の被爆実態と、半世紀を経た今日なお數十万人々が後遺症に苦しんでいる現状を直視すれば、核兵器がいかに地球と人類にとって有害不用のものであるかは自明である。

私たちは、両国政府が今後の核実験計画を即時全面中止するとともに、国際世論に真剣に耳を傾け、世界平和の緊急課題である核兵器廃絶のため行動されるよう強く要求する。

私たちはまた、日本政府が世界唯一の被爆国として、両国が行った核実験に対して厳重に抗議するとともに、今後、いかなる国のかなる方法の核実験にも反対することを世界に表明し、いま緊急に求められていけることを要求する。

右、決議する。

一九九五年九月二十六日

川辺町議会

一般質問

そこが聞きたい 知りたい

現在、世界には四万発を超す核兵器が貯蔵されているといわれており、今や、地球と

「非核平和都市宣言」をして、町民とともに核兵器廃絶、平和を守る運動に取り組む考えはないか



船戸 進議員

議員が町の行政の在り方、問題点を町長らに問い合わせ、「一般質問」は、会期最終日九月二十六日に行われました。今回は、五人の議員が登壇し、町政の諸問題について質問しました。

質問の要旨と回答の概要是、次のとおりです。

(掲載順序は、発言通告書の受付順)

私は、問題点を町長らに問い合わせ、「一般質問」は、会期最終日九月二十六日に行われました。今回は、五人の議員が登壇し、町政の諸問題について質問しました。

人類にとって核兵器の廃絶は緊急の課題です。

こうした状況下にあって、フランス、中国は地下核実験を強行し、さらに数度の実験を継続することを明らかにしています。

平和を希求する私たちは、今こそ「核兵器を無くし、平和を築こう」の声を大きく結集しなければなりません。

多くの自治体で、「非核平和都市宣言」が行われ、署名活動、啓発宣伝活動などに取り組んでいます。

被爆体験をお持ちの町長が、川辺町において「非核平和都市宣言」をして、町民とともに平和活動に取り組む意義是非常に大きいと思います。お考えをお聞かせ下さい。

今議会において
「非核平和都市宣言」の決議をして
いただきたい

【町長】日本は世界で唯一の被爆国です。広島では三十万人が亡くなりました。私も広島における被爆者の一人ですが、あの悲惨な光景は今も忘

れることはできません。

多くの自治体で「非核平和都市宣言」が決議されており、川辺町でも、核兵器をなくし、さらに消費税そ

真に平和な世界を築くために議会の皆さんと取り組んで行く必要があると感じています。

今議会で議員提案として、「核実験即時中止と核兵器廃絶を求める」決議が準備されていますが、同時に「非核平和都市宣言」の決議もお願いしたいと考えています。

議会で「非核平和都市宣言」が決議された場合、町としての取り組みについて言明されれば、(議員提案で)議決してもよいと思いません。この点について若干見解が異なるので、再度お尋ねしておきたい。

【町長】(宣言をしている) 全国の市町村の多くは議会の決議で実施されています。決議していただければ、町行政としても十分研究し、看板の設置や町の広報などで十分PRしたいと考えております。のでご理解いただき、議会として、決議をいただきたいと重ねてお願いします。

今回の消費税率の引き上げ、また消費税そのものについて、町長はどのようにお考えでしょうか。

消費税率は低所得者ほど負担率が高くなる「弱いものいじめ」の悪法ですが、今後一層強化されようとしています。低所得者や年金に頼って生活している高齢者の生活を守る上から、税率の引き上げを認めず、さらに消費税そのものをやめさせるため、多くの国民と共にたたかわなければならぬと考えます。

消費税五パーセントへの引き上げ、さらには消費税そのものについてどのように考えていくか。

答

厳しい財政事情、福祉充実のためには賛成ではないが致し方ない

【町長】高度成長時代が終わり、バブル経済崩壊により国の財政も大変厳しさが増しています。町においても、法人税の減税、特に平成六、七年度は住民税の減税により年四千万円程の減収となっています。引き続き平成八年度以降も減税施策が行われるよう、高齢化社会にあって、老人医療費等は急騰しています。

問
老人医療費・入院給食費有料化政策について町長の考え方を聞きたい。

老人医療費の無料制度は、昭和四十四年、革新美濃部都政のもとで実施され、各地の自治体に広がる中で、昭和四十八年国の制度として実施さ

れました。

その後、老人保健法成立によって、老人医療費は昭和五十八年から有料化に逆戻りし、さらに最近、入院給食費の有料化が実施されて患者負担が増えつつあります。

こうした国の政策を町長はどういうにお考えでしょうか。

一部医療費の負担はやむを得ない

【町長】入院給食費は、低所得者については軽減措置が取られています。

高齢化がますます進む中で、老人医療費も、高騰しています。こうした折、一部医療費の負担はやむを得ない措置であろうと考えています。

問
政治倫理の確立の方策は

昨年の県会議員の現金配布事件で、私たちは真相の究明を申し入れました。

当時、議会は『これを機に町発展に全力傾注を』と言いましたが、年内は町行事への出

席は自粛する』と矛盾した決議と、報酬の減給処分を行いましたが、真相は今なお闇の中です。

私たち今こそ襟を正し、政治倫理の確立を図り、信頼を回復するための措置を講じなければならぬと考えます。

議会としてこの課題に取り組むことを提唱します。

三十年間、議会と町当局の中枢部にあつた町長が、果たして全く蚊帳の外であったのかという疑念は拭いきれないが、この際二度とこうした事件を起こさない方策について町長の所見をお尋ねしたい。

【町長】政治倫理の確立を図ることは極めて重要。議会と一緒にとなつて取り組んでいく

ています。一層のご指導をお願いします。

米の輸入自由化問題についての実態と方針は

米の輸入自由化をどう考えているか。また、川辺町における実態と、今後の方針について伺いたい。

【町長】八年度以降も自主転作を続ける

【町長】日本人は米を主食としていますが、米離れで消費が減り、米の生産調整、転作が行われてきました。

川辺町は農家の皆さんのが力で集団転作を中心に行なう転作目標を達成することができました。

しかしウルグアイラウンドの成立により平成十一年まで大量の米の輸入が決定づけられています。これは誠に矛盾したことです。

【企画課長】第三次総合計画は、岐阜県二十一世紀ビジョンに基づく岐阜県第五次総合計画、可茂地域第三次総合計画や町第二次総合計画及び他の行政計画と整合性をは

豊作により八年度は転作の一層強化が見込まれていますが、川辺町は八年度以降も自主転作を続けて行く考えであります。

川辺町第三次総合計画作成にあたり、どのように住民参加を考えたか

川辺町第三次総合計画は、既に策定の段階に来ていると思います。これまでの経過と、住民のコンセンサスを得るために、計画段階からの住民参加についてどのように考慮されたかお尋ねします。

【企画課長】地域懇談会計画が間に合わなかつたので、今後必要が生じた時点で開催する

かり、また商工会等の懇談会、住民アンケート、意識意向調査等の資料に基づき現在作成中です。

当初、住民コンセンサスを図るために地域懇談会を計画しましたが、開催の時期を逃し、間に合わなくなつたので、今後社会経済等の外的諸条件の変動等により計画変更を図る必要が生じた時点で実施していきたい。

問
陸砂利採取許可にあたつて環境影響評価行つてゐるか

近年各所で陸砂利の採取がされています。地下資源の活用も結構ですが、今後も限りなく続けることは問題があるのではないか。特に地質構造を根底から破壊することでも地盤の強度を弱め、地下水脈に重大な影響を及ぼすと考えます。

当町は、良質な地下水を多くの町民が享受しており、砂利採取のために地質構造を破壊されて、悪影響を受けることになつてはならない。砂利採取を許可するに当たつて、

環境影響評価（環境アセスメント）を行つていますか。

悔いを千載に残さないためにも、厳重に対処してほしい。町当局の見解をお尋ねします。

大変難しい問題です。

県の基準は農地における掘削の深さは、原則として十メートル以内。

ただし、埋め戻しの良好な農地の復元の可否、災害防止及び地下水への影響等を総合的に判断し、支障のないものは十五メートル以内。

農地以外の地域の掘削深さは、災害防止及び地下水への影響等を総合的に判断し、支障のないものは十五メートル以内となつています。

【企画課長】現在まで地下水について問題は聞いていない
県知事の認可なので、県に強力に指導を要請する

【企画課長】町内の陸砂利採取に関しての環境アセスメントは実施されていません。

陸砂利の採取手続きは、事業地が農地の場合、農地法の一時転用が必要で、当然、事業計画、隣地承諾等を添付し県知事の許可をとり、これに並行して砂利採取計画認可申請書が知事に提出されます。

可茂管内の各所で陸砂利採取が行われていますが、現在まで地下水の問題は聞いていません。いずれにしても認可是県知事であるため、井戸枯れ等、異常が生じた場合、採取作業を中断させて、直ちに対処するよう指導するとともに、県に対して強力に指導対応します。

【町長】（砂利採取業者が）認可基準により認可されます。ご指摘の、地下水の規制は

環境影響評価（環境アセスメント）を行つていますか。

悔いを千載に残さないためにも、厳重に対処してほしい。町当局の見解をお尋ねします。

申請を県に出す前に、地権者、関係地域の住民、区長、土地改良区関係、農業委員会関係等の承諾書を取り付けており、行政しては拒むことが難しい。

骨材、資源の確保の面で、県も、全面的に許可の態勢ができており、拒む事は大変難しい。町としては支障のないよう、万全を期して行きたいと考へております。



問
議会の招集（開会）を放送してはどうか

【総務課長】放送のプログラムを組むうえで、ご質問の内容について全部を放送するこ

とに問題が起きてくるのではないかということ。県知事から段階で広がった場合に、非常に問題が起きてくるのではないか」ということ。

環境アセスメントが実施されていないので問題である。

すべての場合についてボーリング調査を実施し、地下の状態を把握するような厳しい規制をして行く必要があるのではないか。再度お尋ねしたい。

【町長】（砂利採取業者が）

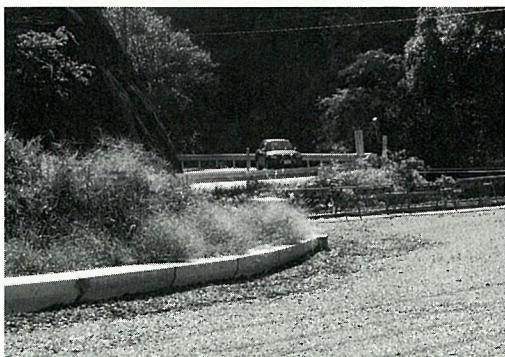
時期、内容に問題があるが前向きに検討する

【総務課長】放送のプログラ

ムを組むうえで、ご質問の内容について全部を放送するこ

とは難しいが、前向きに精査検討して防災行政無線の有効利用を図って行きたい。

報告されたい。



問 鹿塩バイパスはいつ完成するのか

答

完成予定は平成九年の予定だが、早期完成に向け、県当局に強く要望して行く

問 戰没者等の特別弔慰金の更改を該当者に通知できないか

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給については、「広報かわべ」の八月号で詳報されたが、該当者が必ず読むことにならぬことに、行政無

県道美濃・川辺線の鹿塩バイパスの建設工事が多年にわたり、細切れ工事で進められ、今だに完成しないのはどうしてか。この道路の改良はゴルフ場の完成に伴い、交通量の増加が見込まれ、学童、生徒の通学路があるので、早急な対策を要望したはず。どのように考えておられるのか。

早期完成に努力されたい。全体計画と完成時期についても重要な路線と位置付けおり、早期完成に向けて、県当局に強く要望して行きます。

昭和六十二年に延長四〇メートル、幅員六メートル、総事業費四億円で事業計画され、今年で八年を経過しているが県単独事業のため、毎年四千万円ほどとのベースで行っています。この状況で行くと平成九年の完成になるとと思う。町としても重要な路線と位置付けおり、早期完成に向けて、県当局に強く要望して行きます。

【建設課長】鹿塩バイパスは、

答 受給権者の異動もありすべての支給対象者把握は困難

んでいるとは限りません。特に高齢者は見落とすことが多い。町居住者で請求を失念し、時効で受給できなかった人があります。本来は該当者の請求により支給されるものですが、住民サービスの一つとして、該当者に通知できないものか検討いただきたい。



渡辺芳孝議員

線でも知らせるようにしたい。

問 住民の要望には見通しを示してほしい

変化の激しい現在、住民の要望も多様になっていきます。そこで緊急度、財源との整合の中で山積する住民の要望の期待に応える責務の苦労は十分理解できますが、住民の要望には解決できることとできないことがあります。要望に対する方向づけ、見通しを提出者に示し理解を願う努力を強めてほしい。

問 商店街を守り育てるために町や商工

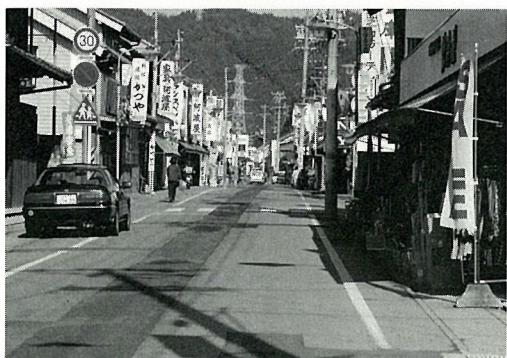
会も連携を

解決できるものは敏速に、いたわり合う心の対話の中でも小さなことを大切にしながら安心を持って行政を信頼することにつながると考えます

【助役】地方行政における町の業務は、住民の最も身近な業務であり、町民と密着した民主的な運用が最も大切で重要なと認識しています。住民の理解と協力がなければ町づくりは不可能と考えております。

ご指摘のような事態があったことは、誠に申し訳なく思っています。職員の姿勢の研修、あるいは要望の処理等について現在その検討に入っていますが、いかにして信頼を回復し、要望を解決するかを、特に職員間で研修に努め早急に対処して行く所存です。

答 要望の処理等について、検討に入っている



世間の動き、ふれあいが深まり、そのことが売買とは別な住民生活にとって大事である』と記載されていました。川辺町の将来にとって、衰退させではない。零細商店と共存共栄の中できこそ川辺町の発展があると私は確信しています。

各商店の自助の努力も責務

と思いますが、住民にとって魅力ある商店街の構築に商工会との連携の中で、現状を打破する危機意識を持って行政指導を發揮すべきと考えます

がどのようにお考えでしょうか。

活性化について検討中で、難しい問題であるが、町、商工会、商栄会と連携を密にし活性化に努める

答
商工会議所の活動は、川辺町の活性化につれて検討中で、難しい問題であるが、町、商工会、商栄会と連携を密にし活性化に努める

と思いますが、住民にとって魅力ある商店街の構築に商工会との連携の中で、現状を打破する危機意識を持って行政指導を發揮すべきと考えます

がどのようにお考えでしょうか。

【企画課長】本町内の商業環境は、近隣市への大型店の進出、消費者ニーズの多様化、モーターリゼイションの発達等で大変厳しい状況にあります。近隣市町村でも旧商店街の活性化には苦慮している現状です。町としても活性化を図るため、駐車場の確保、道路のカラー舗装、産業文化祭の実施、川辺おどり・花火大会等イベントに助成してきました。

商工会が中心となり、活性化に取り組む姿勢として「新しいまちづくり活性推進委員会」が設置され、行政も参加アンケート調査等を実施し、検討されてきましたが、なかなか明確な結論が出ず、現在検討中です。商業の振興、商店街の活性化は大変難しい問題であり、今後とも、町、商工会、商栄会と連携を密にし、「新しい

町づくり活性化推進委員会」を主とし、商業者と一体となつて活性化に努力していきたい。



平岡久茂議員

問 国道四一八号線の改修拡幅の早期実現を

国道四一八号線は山楠地内陣屋野前で改修工事が行われていますが、それ以前に改修が必要と思われるのは山之上町堀割までの道幅も狭く、カーブの多い危険な区間です。

関・美濃方面へ多くの方が通勤に利用される重要な道路で、朝夕のラッシュ時には退避所もなく車の行き違いもできな

い現状ですが、改修の見通し時期、国や県の計画について伺いたい。早期実現を要望します。

商業の振興、商店街の活性化は大変難しい問題であり、今後とも、町、商工会、商栄会と連携を密にし、「新しい

答 国道四一八号線の改良工事は美濃加茂市へ向けて順次進めている。特に危険な箇所は別途改良計画を立案している



【建設課長】

川辺町西柄井山楠地内から美濃加茂市境界の七百メートルの間は、順次美濃加茂市へ向けて改良工事を進めています。特に、朝夕の通勤時間帯の通行車輛は非常に多くなっています。幅員も狭くカーブの多い美濃加茂市側から三百メートルの間は危険な状態と認識しています。

川辺ダム湖周辺整備事業の一環である左岸道路の新設予定はいかが進んでいますか。地元としては道路幅員が四、五メートルで自動車が十分通れる道を希望していますが、設計はどうになっています。

しております。
この付近は国道四十一号線のバイパス計画が決定されており、全面的な改良は難しい現状です。道路管理者としては、安全を優先的に考え、現在県当局において、特に危険な箇所について町とともに改良計画を立案しているところです。



大脇久男議員

問 飛驒川左岸道路新設はいつか。町民の希望を取り入れた立派な道路を新設してほしい

飛驒川左岸道路新設はいつか。町民の希望を取り入れた立派な道路を新設してほしい

川辺ダム湖周辺整備事業の一環である左岸道路の新設予定はいかが進んでいますか。地元としては道路幅員が四、五メートルで自動車が十分通れる道を希望していますが、設計はどうになっています。

A black and white photograph showing a wide lake in the foreground, framed by a wooden railing. The lake is nestled among several hills and mountains covered in dense green trees. In the distance, a small town or cluster of buildings is visible at the base of the mountains. The sky is overcast and hazy.

町民の希望を取り入れた立派な左岸道路にしていただき

また、湖岸にある竹やぶが付近の住民にはたいへん迷惑になっています。自然環境保護の面から迷惑にならない場所は残して保護するにしても何かよい方法で改善してほしい。

公園道路計画は幅
三メートルの遊歩
道。地域の方が有
効に利用できる生
活道路の整備も計
画している

スが地域の方のご理解の中で親しまれ、十分活用されます。よう、取り付け道路の整備、町の道路計画との整合性を考えて、地域で有効に利用できる生活道路の整備も計画しています。

ご質問の道路は公園の道路として、延長一千二百メートル、幅三メートルの自然とふれあう遊歩道で、湖岸の植生の保全、消防の確保等も考慮して立案したもので、右岸、左岸全体を一体とした公園を考えております。

平成十二年に高校総体の漕艇競技会場の候補地とされ
おり、このためにも早期に都
市計画決定を受けるよう、用
地調査、用地買収等を積極的
に進めなければと考えていま
す。

建設課長 川辺タム湖周辺整備事業は、飛騨川周辺の水と緑のオープンスペースづくりを目指し、リクレーション、スポーツの交流の場として、また、地域住民の日常生活における潤い、自然とのふれあいの場として整備を図ることを目的としています。

と照らし合わせ、十二分に検討を重ね、事業の推進ができるよう考えておりますので、地域のご協力をお願いします。



辻 武史議員

か町やこの地域の現状と対比して考え、職員として何をすべきかを學習し、お互^い切磋琢磨してもらいたい。

実生活の面においても、衆人の目するところからすがすがしく健全であるべきで、特にパチンコ、マージャンなど射幸心をあおるような遊びを趣味の第一におくようなことは差し控えるべきといいます。いかがでしょうか。これが特に若い意欲的な職員を実質指導する立場にある管理職の場合はなおさらです。それではとても息苦しいと思われるかも知れないが、率直な意見としてとうえ、忌憚^{きだん}のない返

公務員も人の子で、今日の社会情勢、行政内容等においては非常に複雑・多様化している現状から、非常にストレスが蓄積されていると思います。従つて、一概にご指摘の遊戯を禁止することは非常に難しいことと考へています。

要は、公務員として身分をわきまえ節度ある行動をし、町民からひんしゅくを買うような行動を慎むことは大切なことと考へております。

職員に、公務員としての行動について自覚を促し、町民から信頼されるようにして行きたいと考へております。

職員の指導を充実させ、公僕としての自覚を促して行く

【助役】公務員の姿勢については勤務中はもちろんのこと、勤務外においても公務員としての自覚と誇り、ヒューマンな心をもって行動することは地方公務員法でうたわれており、基本であると承知している。

問 現状をつかみ、将来をにらんだ対応

前にも質問しましたが、簡 単な回答で終わっているので、子供を持つ住民の切実な要望として、再びお尋ねします。

うエンゼルプランと題した五ヶ年計画を平成六年を元年として具体的な指標を出します。その十項目の内容のうちに、放課後低学年の子供達を、親が職場からかえつくるまでの間、児童館や児童クラブが面倒を見ようという計画がありますが、川辺町においても、各小学校に綿密な取り組みを求めて現状をつかみ、それを基に将来をにらんだ対応をして欲しいと思いますがいかがでしょうか。

画がありますが、川辺町においても、各小学校に綿密な取り組みを求めて現状をつかみ、それを基に将来をにらんだ対応をして欲しいと思いますがいかがでしょうか。

エンゼルプランについては（教育の関係ではないので）福祉事務所へ尋ねましたところ、今年から県で具体的検討に入っている段階ということです。今後、具体化されれば、教育、福祉の関係の中で検討していく必要があるうと思つております。

三年後の毎週土曜日休みの対策も考え、具体的な検討が必要であると認識しています。川辺町青少年健全育成町民会議に、PTA・学校・民生児童委員・保母・地域・青少年健全育成指導員等の代表をメンバーとして、「学校週休二日制度対策部会」というような部会を設けて、具体的な対応を検討するのも望ましいと考えています。

平成7年 第7回臨時会

平成7年第7回臨時会が11月1日午前9時に招集され、財産の取得、補正予算など4議案を審議のうえ原案どおり可決し、同日閉会しました。

リフトバス購入・補正予算など審議

可決案件

○一般会計補正予算（第四号）

下水道特別会計への繰出金を増額しました。

○財産の取得について

来年二月から事業開始予定の川辺町デイサービスセンターの送迎用リフトバス一台を購入する契約締結を議決しました。

国庫補助金が追加されるこ
とにより、工事請負費、委託
料を増額しました。

指名競争入札により、
有限会社 足立自販から購入
します。

八六八万四、六四八円
このリフトバスは移動用寝台や車いすを搭載できる八人乗りの車です。（日産製）
運用・管理は社会福祉法人慈恵会に委託することになります。

○下水道事業特別会計 繰入金の変更

運用・管理は社会福祉法人慈恵会に委託することになります。

国庫補助金
県繰入金
町債計

国との総合経済対策等により
公共下水道の事業量を増加す
るため、一般会計からの繰入
金を増額しました。

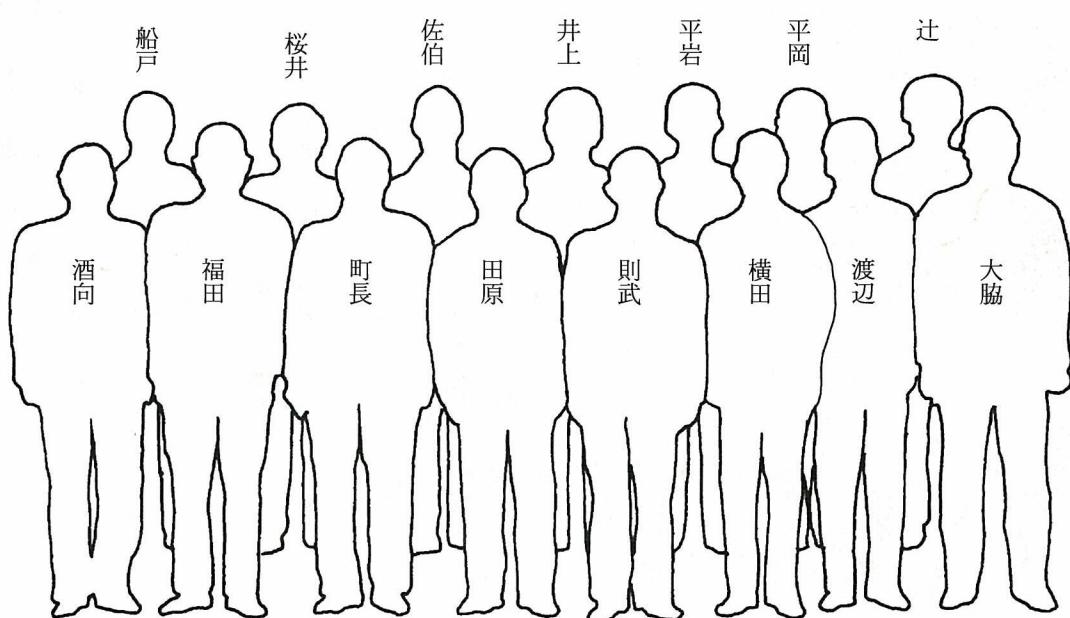
二億八千五十七万四千円を
二億九千四十九万四千円に。
(工事請負費、委託料増)

議会日誌

- | | |
|---------------------------------|---|
| 9／1 議会全員協議会・第6回臨時議会 | 10／11 木曾川右岸土地改良区連合利水事業協議会
先進地視察に議長出席 |
| 9／4 建設農林委員会協議会 | 12 " (高山市) |
| 9／5 民生文教委員会協議会 | 24 建設農林・民生文教・総務各委員会協議会開催 |
| 9／6 総務委員会協議会 | 26 郡議長会長会・議長会通常総会に議長出席
(岐阜市) |
| 9／8 議会運営委員会 | 七宗町合併40周年式典に副議長出席 |
| 9／12 第3回定例会 初日 | 30 福寿大学運動会に議長出席 |
| 9／18 正副議長就任挨拶まわり | 11／1 議会運営委員会、第7回臨時議会 |
| 9／19 決算審査特別委員会 | 1 七宗・八百津・川辺3町議員・3役親睦ソフトボール大会(八百津町) |
| 9／20 " | 5 消防団秋期訓練に議員出席 |
| 9／21 " | 6 東海4県議長会に議長出席(名古屋市) |
| 9／23 正副議長・議員選手 全国市町村交流レガッタに参加 | 7 |
| 9／24 " (秋田県本荘市) | 16) 全国議長会に議長出席(東京都) |
| 9／26 第3回定例会 最終日 | 17 |
| 9／27 議長・高校総合体育大会・漕艇競技会場説明陳情(県庁) | 26 川辺町消防団日本消防協会表彰旗検閲式に議員出席 |
| 9／69 2郡町村議員親睦ソフトボール大会(川辺町) | 社会福祉協議会理事会に議長出席 |
| 10／1 各小学校運動会に議員参加 | 28 連合福寿会研修会に議長出席 |
| 10／5 中濃・東濃・飛騨、正副議長研修(中津川市) | |
| 6 | |

町議会

新メンバーでスタート



表紙写真 議員名